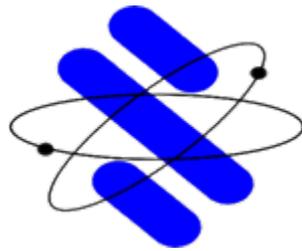


平成23年3月期 決算説明資料



平成23年6月27日

 株式会社 昭和システムエンジニアリング

目 次

平成23年3月期決算概要

1	業績概要	4
2	経営成績	5
3	業績推移	6
4	売上高四半期推移	7
5	事業別業績推移（ソフトウェア開発事業）	8
6	事業別業績推移（入力データ作成事業）	9
7	事業別業績推移（受託計算事業）	10
8	業種別売上比率（全社）	11
9	貸借対照表	12

平成24年3月期の見通し

10	経営環境	14
11	平成24年3月期の展望	15
12	平成24年3月期業績見通し	16
13	売上高推移見通し	17

平成23年3月期決算概要

1. 業績概要（平成23年3月期）

売上高

3,831百万円

（前年同期：3,646百万円）

経常利益

121百万円

（前年同期：84百万円）

純利益

67百万円

（前年同期：5百万円）

経営環境

わが国経済は、政府の景気対策や好調なアジア地域の経済成長に支えられ、緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、円高やデフレ経済の進行、雇用情勢の低迷など、引き続き厳しい状況で推移しました。

情報サービス産業界の動向

企業の情報化投資に対する慎重な姿勢が続いており、四半期単位の売上高は前年同期比マイナスで推移しました。

（経済産業省・特定サービス産業動態統計）

当社の施策・・・

営業力や技術力の強化に加え、エンドユーザーの深耕と優良顧客への人的資源の集中を図ってまいりました。また、利益面においては、全社的なコスト削減を進める中、特に一般管理費の削減に努めてまいりました。

なお、技術力強化のための教育訓練活動に伴い雇用調整助成金を受給し、営業外収益に計上しております。また、特別損失には東日本大震災の被災者に対する義援金を計上しております。

2. 経営成績

(単位：百万円)

	平成23年3月期	平成22年3月期	前期差額	増減率
売上高	3,831	3,646	185	5.1%
売上総利益	418	437	△19	△4.3%
総利益率	10.9%	12.0%	—	
販管費	326	359	△33	△9.2%
営業利益	92	78	14	17.9%
経常利益	121	84	37	44.0%
特別利益	9	5	4	80.0%
特別損失	5	54	△49	△90.7%
税引前利益	125	35	90	257.1%
法人税等	58	30	28	93.3%
純利益	67	5	62	—

3. 業績推移

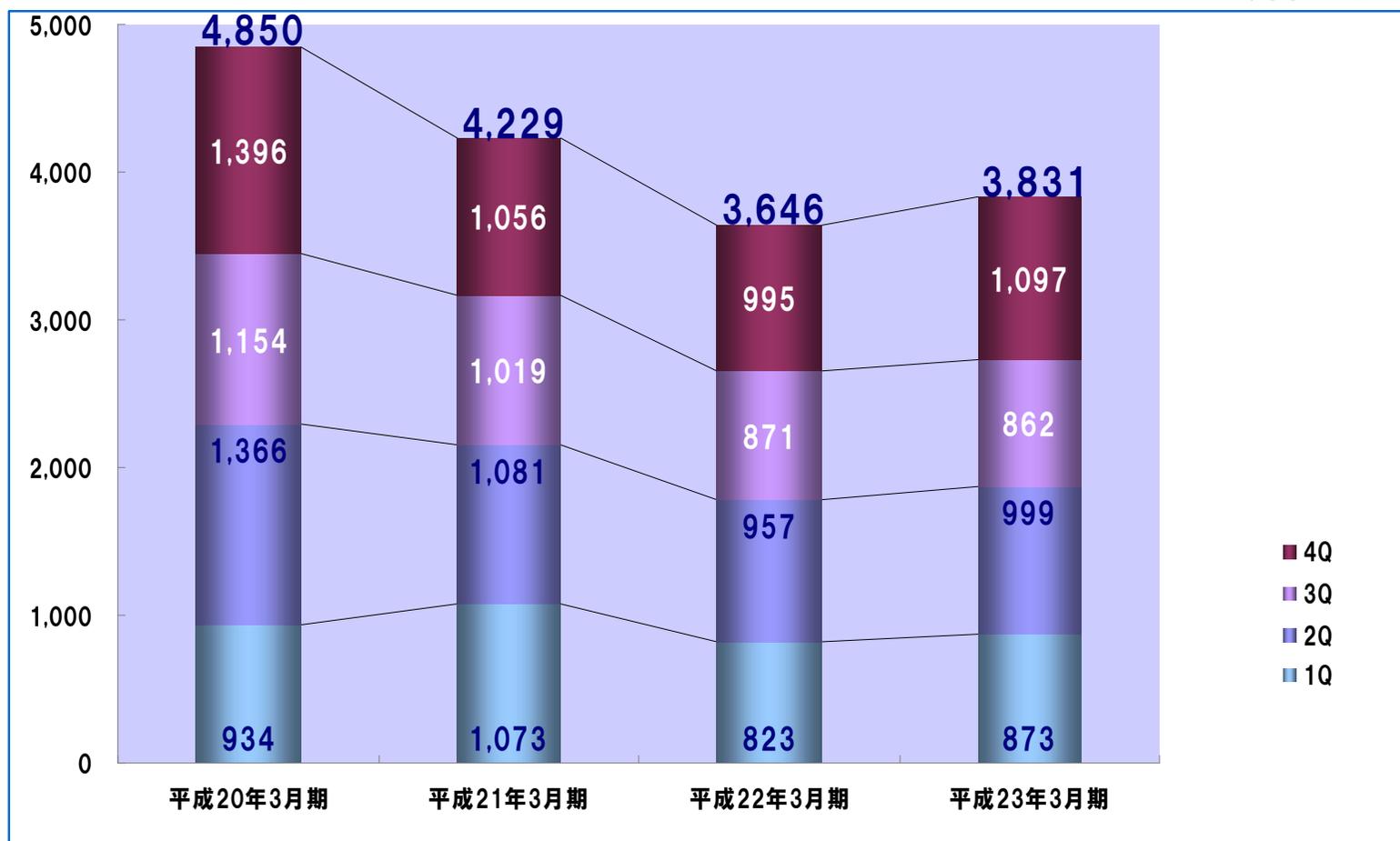
(単位：百万円)



当社業績を成長基軸へ戻すべく「RE・START5」のスローガンの下、種々の施策を実行しました。

4. 売上高四半期推移

(単位：百万円)



第3四半期を除き微増となり、全体でプラスに転じました。

[戻る](#)

5. 事業別業績推移（ソフトウェア開発事業）



増収に転じたものの、製造コストの上昇分を補うに至らず減益となりました。

6. 事業別業績推移（入力データ作成事業）



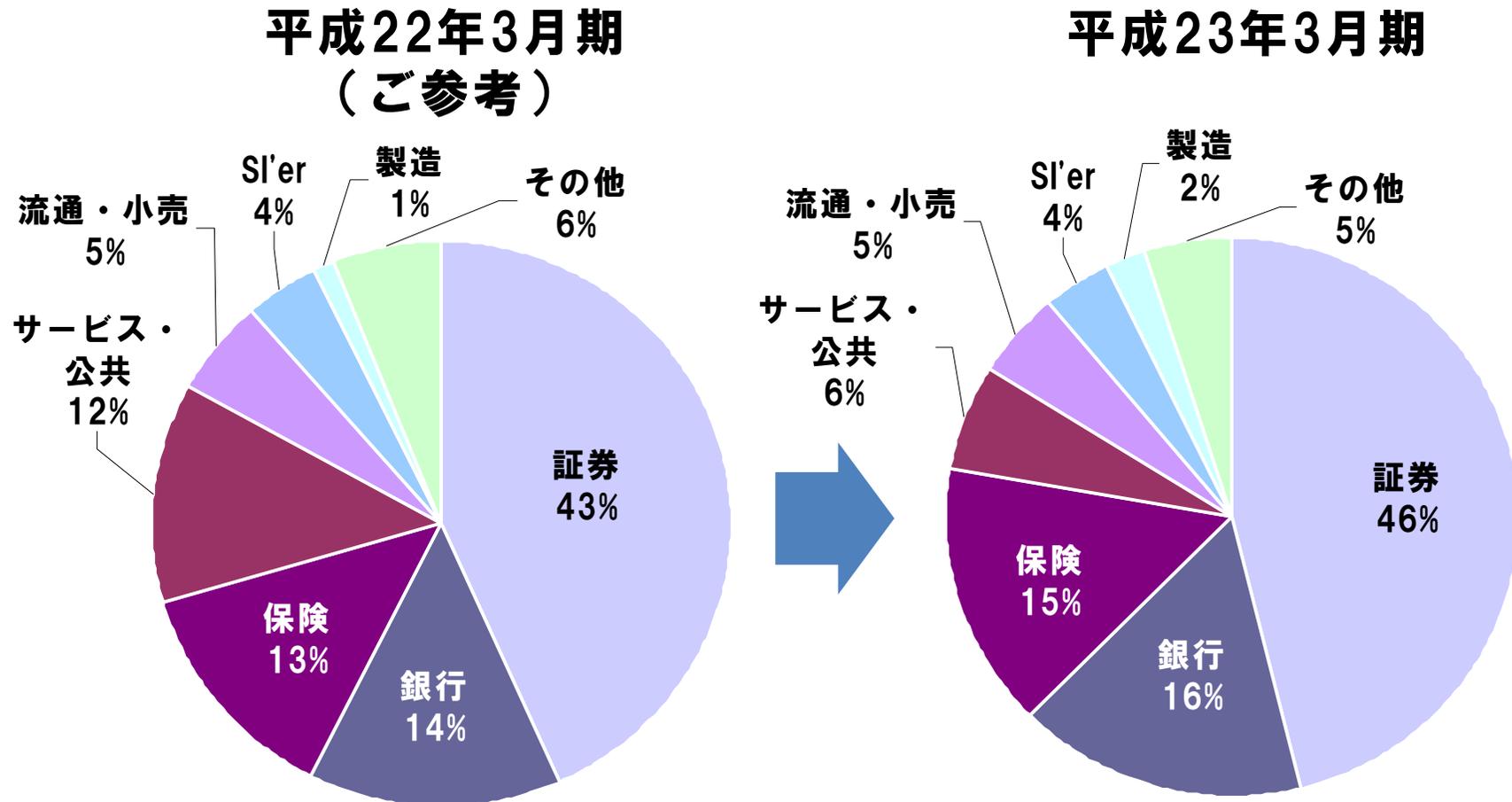
市場の縮小傾向と受注単価下落により減収となりましたが、コスト削減で利益を確保しました。

7. 事業別業績推移（受託計算事業）



受託計算事業は漸減傾向にある中、若干の増収に転じたものの、採算面では低迷しております。

8. 業種別売上比率（全社）



全体として大きな変動はないものの、サービス・公共系の案件がひと段落し、売上比率が減少しました。

9. 貸借対照表

平成22年3月期

(平成22年3月31日)

(単位：百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 1,734	流動負債 423	負債・純資産の部
	固定資産		固定負債 1,310	
	3,928	純資産合計 2,193	3,928	
	2,925			
	1,002			

平成23年3月期

(平成23年3月31日)

(単位：百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 1,842	流動負債 471	負債・純資産の部
	固定資産		固定負債 1,371	
	4,051	純資産合計 2,208	4,051	
	3,026			
	1,024			

流動比率
自己資本比率

690.2%
55.9%

642.2%
54.5%

平成24年3月期業績見通し

10. 経営環境（平成24年3月期）

- わが国経済は、個人消費や設備投資の減速、雇用情勢の低迷など厳しい環境が続く中、本年3月11日に発生した東日本大震災により国民生活や企業活動が甚大な影響を受け、更なる景気低迷が見込まれます。
- 情報サービス産業は、復興を最優先とする企業の情報化投資抑制が強まり、ITサービス市場はマイナス成長で推移するものと思われれます。
- 情報化投資の抑制により、受注金額の値下げやIT業者間における競争が激化するものと見ております。

1 1. 平成24年3月期の展望

対処すべき課題	施策
<p>☞ 選択と集中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な受注活動 ・フレキシブルな資源集中 ・エンドユーザー売上比率の拡大
<p>☞ プロジェクトの品質強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業戦略推進室の新設 ・PDCAサイクルの実効的活用 ・基本動作の徹底
<p>☞ 技術者の確保と人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材獲得…量と質の両立 ・戦略的な教育 ・雇用調整助成金の活用
<p>☞ 内部統制の定着と効率化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な見直しと改善 ・管理業務の効率化 ・監査法人による助言、指導

※「RE・START5（スローガン）」2年目として再認識し、計画目標の達成を目指します。

12. 平成24年3月期業績見通し

	平成23年3月期（実績）		平成24年3月期（見通し）		
	金額：百万円	前年同期比 増減率	金額：百万円	前期差額	前年同期比 増減率
売上高	3,831	5.1%	3,900	69	1.8%
営業利益	92	18.0%	100	8	7.9%
経常利益	121	43.8%	115	△6	△5.7%
当期純利益	67	—	58	△9	△13.6%
1株当たり 当期純利益（円）	13.96		12.07	△1.89	

厳しい経営環境の中、得意分野への「選択と集中」を図り、新規顧客への営業活動の強化と既存顧客への深耕に努めており、前年度並みの収益を見込んでおります。

（注）本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。

1 3. 売上高四半期推移見通し

